

2023 年度 学校法人 三幸学園 仙台スイーツ&カフェ専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 佐々木 成史

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 遠藤 裕紀

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

【育てる育成像】

・素直な心、感謝の気持ち、高い意欲、自ら考え行動し社会に貢献できる人

【学校運営で取り組んだこと】

・魅力的な授業展開、活気ある風土を醸成することで、退学者数の減少を目指す。

【2024 年度 入学者・進級者状況】

・1 年生:165 名(内 1 名休学者)

・2 年生:144 名 パティシエコース 61 名/ ブーランジェ・製パンコース 30 名
カフェ&パスタコース 30 名/ スイーツカフェクリエイターコース 23 名

◎退学者数:実績

昨年度実績 1 年生 11 名 7.1% 2 年生 3 名 1.9% 全体 4.5%

今年度目標 1 年生 9 名 5.5% 2 年生 2 名 1.4% 全体 3.6%以下

【実施対策】

・授業見学や実習教員の技術研修を実施した。

・週に一度担任ミーティングを実施し、スクールカウンセラーにも同席いただき情報の共有をした。

・今年度もねらいのある年間スケジュールを設定している。

内容:年間の退学者データより、退学者が増える前の時期に対策行事などの実施

- ・今年度は学年担任制を継続しながら、1年生は目的を理解し段階的に社会人に向けての成長を高める指導の組み立て。
- 2年生は自ら考え行動でき、挨拶・報連相・掃除など当たり前に行えるように習慣化できる指導を行っている。
- ・卒業生とのディスカッションや卒業生講話を取り入れて、より職業理解をはかる。
- ・保護者との連携の為に、授業参観と保護者説明会の実施。

② 学校関係者評価委員会コメント

- 遠藤委員：卒業する際に身に付けてほしい力としては、挨拶やマナーなどが出来る生徒。
- 二瓶委員：退職防止にもなるが、受験する前にお店に来店するなど、生徒側もマッチングするような努力は必要。
- 加藤さん：退職防止のためにも、就職指導としては企業様とマッチングするやり方を考えていかなければならない。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・答えのない問題に答えを出す力の強化。
- ・教職員の個への対応力。

② 今後の改善方策

- ・業界のニーズを把握するため、卒業生訪問の回数を増やし、強化する。
- ・業界のニーズに合った教育を行うための教員研修会の実施。
- ・今年度はTPOに合わせた対応ができるよう、ホームルームや授業を通して指導する。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 加藤さん：集団行動が苦手な学生に対してどのように対応したらよいのか。
- 遠藤委員：企業でもホスピタリティ、コミュニケーション力を高める研修を実施し、コミュニケーションをとる事についての動機付けをしている。
- 岩田委員：コミュニケーションについては、仕事を始める前にミーティングや申し送りをしてから始め、疎外感が出ないようにしている。

- 金野委員：お金がほしい、休みがほしい、ホワイト企業がいい、などと言われるが、SNSなどの情報だけを信じるのではなく来店するなど自分の目でみて判断することも必要。情報過多の中での情報が正しいのかの見極める力も必要となっている。
- 遠藤委員：人事部の無記名のアンケートなど実施し、考えている事などを吸い上げる努力もしている。
- 遠藤委員：企業側も情報が多くある中で選ばれるように、時代のニーズに合わせていくことが必要。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・システムによる情報の効率化を引き続き実施する。

② 今後の改善方策

- ・Google classroom の活用。
- ・出欠入力の WEB 化の更なる強化。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 遠藤委員：システムによる情報共有だけでは関係構築が上手くできない為、実際に顔を見て声をかけて気持ちを込めて伝える事が大切。
- 二瓶委員：店長に伝えたことは他の社員やアルバイトに伝える。LINE も使用するが、直接伝えることも大切。頻度を多く伝えている。
- 金野委員：サイボウズを利用している。伝えるときには、直接顔をみて伝える事が大切。
- 岩田委員：LINE での連絡がほとんどでした。店舗の LINE、工場の LINE など、別々だったが、一つのコミュニケーションツールとして使用している。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・担任及び実習教員の指導力向上。
- ・悩みを抱える生徒(家庭環境、友人関係、授業についていけない)への接し方、問題解決への対応。

② 今後の改善方策

- ・飛鳥未来高等学校(本校姉妹校)、飛鳥未来きずな高等学校(本校姉妹校)と連携し、高校生の実情と時代背景を理解し、日頃の教務に活かす。
- ・全国姉妹校と連携し、実習教員の技術研修を行い、技術向上を図る。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による学生のケア。
- ・技能検定合格に向けて、合格基準に満たない学生に個別に声かけをして、授業ができない時に任意のフォローアップを実施。
- ・有償ゼミの実施(トップ層育成)
- ・企業連携における商品開発の実施。
- ・施設実習(インターンシップ)の任意化。

③ 特記事項

- ・基礎の部分、コミュニケーション挨拶アイコンタクトなどができるようになってきてほしい。
 - ・お店をリサーチしてきていただきたい。行って見たらなんかちがったなとならないようにしてほしい。
 - ・施設実習前に企業説明会を実施するのはどうでしょうか？
 - ・楽しいことを自分で探すということも大事。
 - ・教わりたいことをしっかり考えてきてほしい。
- (企業のメリットと学生のメリットをしっかり醸成させる)

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 金野委員：企業選びには『やりたくない軸』から探す方法もいいかもしれない。興味を引き出すことが重要。
- 金野委員：生徒の「こうなりたい」を細かく提案することで、段階的に設定できるといいと考える。生徒の能動スイッチを探して、自ら動けるように働きかけることも大切。
- 二瓶委員：企業での教育としては自主的に業務をさせるために、まずは先輩と二人三脚でアイデアを探しながら仕事を実施するのも良い。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・就労定着率向上。

② 今後の改善方策

- ・卒業生訪問を実施し、卒業生の活躍を把握し、教務に活かす。
- ・退学率低減に向けた 2024 年度取り組み。
 1. 学年担任制とチーム担任制の管理の徹底
 2. 教務ルールの一統
 3. ねらいのある年間スケジュール(特別講習やゼミの実施)
 4. 授業参観を通じた、保護者連携
 5. 就職指導内での企業説明会の実施。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

●岩田委員：離職率については、何も言わないで辞める人が多いため、何が理由かわからないことも多いので、新入社員がなるべく辞めないように気を遣って行動している。声をかけながら仕事を教えるなど工夫をしている。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・保護者との連携強化

② 今後の改善方策

- ・保護者への連絡手段として、全保護者のメールアドレスを取得し連携を図る。
- ・授業参観のタイミングで保護者説明会や面談を実施する。
- ・合理的配慮について周知し、窓口を設ける。
- ・可能な限りCT教育を導入し、情報伝達のスピードと確実性を上げる(2021年度より継続実施)。
- ・2月に各クラス毎に保護者をお招きして料理、スイーツを提供する行事を実施(2022年度より実施)。
- ・1年生個人面談の強化。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 二瓶委員：卒業生へ採用情報を発信し、つながりを活性化させる仕組み作りを考えた方がいい。
- 金野委員：人の成長が企業の成長につながるので、他の企業様との関わりも大切。
- 佐々木さん：卒業生の直接的なメリットとして実習室の卒業生向け開放も考えていきたい。(バリスタ向けなど)

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・防災に対する教員・学生の意識を高める。
- ・インターンシップ実習の質を高める。

② 今後の改善方策

- ・防災訓練の担当を中心に、避難経路の確認や防災訓練を実施・継続する。
- ・企業連携を充実させ、学生の就職へのイメージを強化する。
- ・就職指導内での企業説明会。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 佐々木さん:今年度の施設実習は任意としている。施設実習先の確保も必要。
- 二瓶委員:施設実習(インターンシップ)の受け入れはしているが、企業を知っていてほしい為、一度は来店してほしい。
- 岩田委員:情報が行き届くように、シフトに合わせて1日3回の申し送りをしている。
- 遠藤委員:人と人との接し方を大切にすることで、これからの多様性を受け入れられるようになる。
- 遠藤委員:インターンシップの受け入れもしているが、企業選びには来店しギャップをなくしていくことが必要。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・本校の教育方針や特徴を十分に理解している志の高い新入生の確保。

② 今後の改善方策

- ・募集活動を通して、引き続き本校の方針・特色を伝える。
- ・高校への出前授業の提案。中学生訪問の受け入れ。

③ 特記事項

・宮城県専修学校各種連合会が定めたルールに則った募集活動を行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・2020 年から継続して、毎年 10 月に本校で地域の小学生を対象にした製菓体験イベント（ハロウィンイベント）を実施している。

・今年度は 1 月に親子クッキングイベントを実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

●岩田委員：卒業生とのつながりを大切に、学校などでの情報交換の場を設ければ、コミュニティーがさらに広がると思う。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・留学生に対する受け入れ体制の強化、就職先の確保

② 今後の改善方策

・留学生の母国での起業支援

・留学生の就職先の確保

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

●遠藤委員:海外からの留学生の受け入れもしている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・学校にとっても、企業様にとってもマッチングが大切。飲食業界からの離職をなくさないといけない。

・離職しない生徒育成にも力を入れていく必要がある。企業様とのマッチングを考えていく際には、学校での企業説明会への促しや卒業生講話などの仕掛けを今後も継続する。

・実際に社会人初年度で求められる人材としては技能面もちろん必要なスキルではあるが、挨拶や会話、素直さ、報連相などのコミュニケーション能力といった人間性を重視されているため、段階的な成長を促しながら「技能と心の調和」の取れた料理人、パティシエが求められていることを伝えていく。

・学校としても地域や企業様とのタイアップをした教育をしていき、学園全体でも新しい取り組みにチャレンジしたい。

【学校関係者評価委員会コメント】

●遠藤委員:企業側の離職対策では、コミュニケーションを取れるような対策や人事部からのヒアリングの他、熱意や思いを伝えるために直接の声がけをしている。やはり人と人とのつながりを大切に業界を盛り上げていきたい。

●金野委員:採用する側としては、誰でも採用というわけにはいかないなので、先の目標を見せながら、現場に馴染めるかどうか見ている。まずは働いてみてもらうのが1番。言えば言った分だけ吸収してくれる。情報過多の時代なので、必要な情報を得られるかどうか。能動的に動ける生徒が欲しいとは考えている。